

第24回 下水道管路管理主任技士 実地試験【正答・解答例】

(Ⅱ. 施工計画書作成に関する実務)

[問3] 【正答】

① 工種別作業日数の算定

作業種別		高圧洗浄車清掃工 (現場作業)		テレビカメラ調査工 (現場作業)		テレビカメラ調査工 (報告書作成)	
対象施設	延長	標準作業量	作業日数	標準作業量	作業日数	標準作業量	作業日数
塩ビ管 φ300	1,460 m	555 m/日	2.6 日	300 m/日	4.9 日	600 m/日	2.4 日
陶管 φ400	1,160 m	178 m/日	6.5 日	180 m/日	6.4 日	360 m/日	3.2 日
ヒューム管 φ450	475 m	247 m/日	1.9 日	300 m/日	1.6 日	600 m/日	0.8 日
合計		11 日		13 日		7 日	

※ 作業日数の端数処理方法

- ・管種・管径別の作業日数は、少数点以下第2位を四捨五入し、少数点以下第1位までの表記とすること。
- ・作業種別毎の合計作業日数は、小数点以下を切り上げた整数の表記とすること。

② 労務職種別人数の算定

高圧洗浄車清掃工 (現場作業)		テレビカメラ調査工 (現場作業)		テレビカメラ調査工 (報告書作成)	
労務職種名	人数	労務職種名	人数	労務職種名	人数
清掃技師	11 人	調査技師	13 人	管理主任技師	3 人
清掃作業員	33 人	調査助手	13 人	管理技師	7 人
運転手(特殊)	22 人	調査作業員	26 人	調査技師	7 人
運転手(一般)	11 人	運転手(一般)	13 人	調査助手	7 人
合計	77 人	合計	65 人	合計	24 人

※ 解答上の注意点

- ・上項の①にて算定した、各工種の作業日数合計（1日単位日数）を基に算定すること。
- ・労務職種別人数は、小数点以下を切り上げた整数の表記とすること。
- ・積算資料において「必要に応じて計上する」こととなっている作業人数は計上しないこと。

③ 工程表の作成

工程表 【解答例】

月日 工程・種別	作業 日数	10月							11月																	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15										
1. 準備工	5日	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
2. 高圧洗浄車清掃工 (現場作業)	11日																									
3. テレビカメラ調査工 (現場作業)	13日																									
4. テレビカメラ調査工 (報告書作成)	7日																									

※ 工程表作成上の注意点

- ・ 工程表は、バーチャート（「——」もしくは「■」）で記入すること。
- ・ 土曜日及び日曜日は、不稼働日（業務（作業）を行わない日）とし、その他の曜日は全て稼働日（雨天・祝日は無視する）とする。
- ・ 作業日数欄には、「問3-①工種別作業日数の算定」にて算出した日数を記入すること。
- ・ 準備工は、10月1日に着手するものとし、業務（作業）に要する日数を5日間とする。
- ・ 現場作業は、準備工完了の翌日（翌日が不稼働日の場合は、翌月曜日）から着手するものとし、高圧洗浄車清掃工とテレビカメラ調査工は、別の作業班での並行作業とすること。
- ・ 報告書作成は、現場作業完了の翌日（翌日が不稼働日の場合は、翌月曜日）から着手するものとする。

## [問4]

## ① 解答欄

業務件名	
工 期	
業務場所	
業務内容	
あなたの立場	

## ② 解答欄（500字以内横書き記入）

\* 解答欄（20字×25行）省略